

サポートセンター通信

NO.31

発行：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp



新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。



サポートセンターの催しに参加しませんか？

新たな気持ちで新たなスタート！

プラチナサロン“とまり木”

プラチナ世代（55歳以上の元気なシニア世代）の方々が自分の生き方や将来のビジョンについて考え、交流・意見交換を通して、実際の活動や社会参加に結びつけるサロンです。

- 開催日 2月11日(金) 午後2時～4時
- 会場 市民活動サポートセンター
- 内容 <事例発表>
男性の生き方(山田 榮一さん)
女性の生き方(永田 千恵子さん)
- <意見交換>
自由討論し自分の生き方を見つめる。
- 参加 当日直接会場にお越しください。



NPO 会計セミナー

「みんなで学ぼう！ 新しいNPO法人会計基準」

民間主導でNPO法人の会計基準を統一しようという流れの中で、会計インストラクターを講師にお招きし新しいNPO法人の会計基準を学びます。

- 開催日 2月22日(火) 午後7時～9時
- 会場 市民活動サポートセンター
- 対象者 NPO法人、法人化を目指す団体
- 講師 税理士法人 成迫会計事務所
- 共催 NPO法人 長野県NPOセンター
税理士法人 成迫会計事務所
- 定員 20人程度

NPO・市民活動“お見合いひろば”の開催と参加団体の募集

市民活動に関心のある市民の皆さんと、公益的な活動をしている市民活動団体とのお見合い(マッチング)の場“お見合いひろば”を今回初めて開催します。

当日の参加は自由ですので、多くの方のご来場をお待ちしております！

なお、求人希望の参加団体も募集中ですので、ぜひご応募ください！

- 開催日時 2月27日(日) 午後1時～5時
- 会場 市民活動サポートセンター

【参加団体募集要項】

- 対象 当センター登録団体又は参加を希望する公益活動団体
- 申込期限 1月21日(金)まで
- その他 2月上旬に参加団体向けの説明会を開催します。

上記催しに関する問合せ・申込みは...市民活動サポートセンターへ

TEL&FAX：0263-88-2988 HP：http://www.support-center.jp/
E-mail：support-center@support-center.jp



Close up

このコーナーでは、松本市近郊でさまざまな活動をしている団体をご紹介します！！
今回お話をうかがったのは、「JALT SHINSHU」と「FC シュロス松本」です。

JALT SHINSHU

(全国語学教育学会 信州支部)

JALT SHINSHU(全国語学教育学会 信州支部)会長のMARK BRIERLEYさんにお話を伺いました。

JALT SHINSHUは、学校や塾で英語など語学を教えている教師のために、語学の教え方のスキル向上や語学教師のサポートを目的として1987年に設立した。当初は、英語教師の小さな集まりからのスタートでした。

現在会員は30名で、2ヶ月に1回、語学教育向上のための発表会や研修会を行っている。また、毎年ゴールデンウィークに「諏訪湖チャリティウォーク」を諏訪で開催していて、諏訪湖の周りを歩きながら、途中で植樹や様々な研究の発表などを行っている。

また、今年の4月から、小学校5・6年生を対象に英語が必修科目として導入されることに伴い、英語教師のためのテキストを発行した。「どういう教え方をしたらいいのか」と悩む教師のために、教育委員会・PTA・教師など様々な方た

問合せ先

TEL : 0263-27-8790 (MARK BRIERLEY)

URL : <http://jalt.org>

ちと、今後の方向性を話し合う場を開きたいとMARKさんは考えている。

また、JALTは信州だけでなく全国各地にも支部があり、5月には全国のJALT会員の方たちが研究を発表する全国語学教育学会が開催される。英語に興味のある方ならどなたでも参加できるので、ぜひ市民の皆さんも参加して英語に触れ、“Fluency”を目指して欲しいと語る。



チャリティウォークのようす (取材:ごみょう)

~今後の主なイベントのご案内~

第10回全国語学教育学会

分野別研究部会2011年次大会

~“Fluency”を目指して~

会場：信州大学人文学部

日時：5月21日(土)・22日(日)

URL : <http://jalt.org/pansig/2011-j>

FCシュロス松本

松本市の女子サッカーチーム、FCシュロス松本の代表、石田義雄さんにお話を伺いました。

FCシュロスは、昨年波田町との合併に伴い、松本レディースと波田レディースの二つのチームが一緒になり結成された。シュロスとは、ドイツ語で“城”を意味する。

「松本市には、中・高校生の女子がサッカーをする場が無いんです。」松本には、小学生の女子サッカークラブはあっても、中学校、高校で部活としてサッカー部がある学校はない。「サッカーをするには、仲間と場所と指導者が必要。これからは、学校単位ではなくて、社会の中でサッカーをやっていく時代だと思います。」高校教師でもあり、学校に女子サッカー部を作ることの難しさを知る石田さんはそう考える。

FCシュロス松本は、トップチームの“FCシュロス松本”の他、中高生と一般を対象としたサテライトチーム“FCシュロス松本グランツ”、中高生対象のユースチーム“FCシュロス松本ヴィーヴォ”の3つのカテゴリで活動をしている。トップチームのFCシュロス松本は、社会人や主

問合せ先

TEL:0263-47-1789 (吉田)

E-mail:yamaseya@poa.matsumoto.ne.jp

婦が主なメンバー。“子どもから憧れる存在でありたい”と願い、練習に励んでいる。昨年12月に閉幕した長野県女子サッカーリーグ2010では、見事優勝を果たした。

「松本で女子サッカーが盛んになり、ユースで育った子どもが、トップチームで活躍し、そこから新たな指導者が生まれる。そんな人材が循環するようになれば嬉しい。」と将来の夢を語っていただいた。(取材:こいわい)

一緒にサッカーしましょう!



募集期間：随時

会費：年会費 18,000 円、入会金 5,000 円
その他実費

ボランティアセンターからのお知らせ



「笑顔でおつきあい ～コミュニケーションが地域の絆をつくる～」をテーマに



平成 22 年度 松本市ボランティア交流集会を開催します。

日時： 平成 23 年 2 月 5 日 土曜日 午前 10 時から（受付 9 時半）午後 3 時半まで

場所： 松本市総合社会福祉センター 4 階

こんなことします！！



ボランティア活動の発表や PR タイム、交流の時間、お昼には福祉施設でカレーやお弁当、パン類を販売します。午後には、諏訪中央病院の高木宏明 Dr. の講演「ぼけちゃったらどうしよう」があります
どなたでも参加できます。みなさんお誘いあわせてどうぞおいでください！お待ちしております

お問合せはボランティアセンターへ TEL 25 - 7311 mail: vol@syakyo-matsumoto.or.jp

シリーズ 『支える人たち』

～ 新まつもと物語プロジェクト 常任理事 野尻和彦さん～

皆さんが松本のことをインターネットで調べる時に松本市公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」を一度は目にするでしょう。松本の街づくり発展のためのプロジェクトで、もっと松本を知ってもらおう、もっと観光に来てもらおうと多くのボランティアの方がかかわっています。今回は立ち上げメンバーで、市民記者でもあり常任理事でもある野尻さんにお話を伺いました。

なぜ、市民記者になろうと思ったのか聞かけると、優しい口調でお話してくださいました。

「実は地元はここじゃないんですよ。ですから、自分でも松本を知ることが出来ると思ってやっています。立ち上げ時、新聞に市民ボランティア募集の記事を見て、自分も力になれるかもしれないと興味が沸き加入しました。立ち上げメンバーは当初 40 人ほどだったのですが、今では 90 人以上の人が携わっています。色んな人がそれぞれ得意分野をいかして、プロジェクトを支えています。」

昨年の 11 月 3 日に松本市公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」の累計表示回数（PV）が一千万回を越えましたがそれまでのご苦労はどんなでしたか。

「始めたばかりの頃は、お店、寺院、温泉など観光になる場所を重点に置いてそれぞれに班を作りブログを書いていた。最初は取材なども初めての人ややり方に戸惑う人もいましたけど、今は回を重ねるごとに慣れてきているので、自由に松本の「好き」を書いていますよ。それぞれの「松本の好きな部分」を伝えようとブログを書いているので、私もそうですが記者の皆さんは工夫して書いてらっしゃると思います。ブログは自分の親戚あるいは友だちに、松本にはこんな場所があるよと紹介するような形で発信するようにしているんです。こちらの方でブログ講座は開きましたが、本当に基本的な講習だけで「書き方はこうしてください」といった講習はしていないんですよ。それでも、載せられないような記事はこれまで無かったと思います。」

記者の皆さんの「好き」がたくさん詰まっている市民記者ブログ。どのような人達に見てもらいたいですか？

「身近な市民の方々に記事を読んでいただいて、共感したり、より松本を知っていただくのはもちろんですが、旅行者の方で観光雑誌などでは物足りなくなった方や、より深く知りたい方には是非見てほしいですね。ブログを書いていて、まだまだ知らない松本の良いところがたくさんあると思う事がありますので、それをもっと伝えていきたいと思っています。」

市民記者ブログで目指すものは何かお聞きしました。

「単なる観光名所を紹介するではない HP、松本に住んでいる市民の生活やもてなしの心、その暮らしがより身近に感じ、観光名所を巡るだけでなくそれらを体験したくなるような、HP になったらと思っています。観光した方のコメント、ここが良かったなど観光し終わった方の感想ですね。それを教えてもらえるようなものにしたいですね。もっとブログに参加していただき、リピーターが増えるようにしたいです」

（取材：さくた）

電気自動車を試乗して記事を書いた野尻さん



イベント情報をお寄せください。

センター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。



松本子ども劇場 鑑賞例会

<高学年>リトルピーシーズ

チカパンさんのパントマイムを鑑賞。参加しながら愉快で楽しいパントマイムを過ごしましょう！

日時：1月28日(金) 19:00~

会場：あがたの森 講堂

対象：小学4年生以上の会員

<低学年>ざん・ばら・りん劇場

会場をつむぎだす「むかしばなし」の世界。おどったり、演じたり、表現したり。「むかしばなし」を遊んじゃおう！

日時：3月5日(土) 16:00~

会場：あがたの森 講堂

対象：小学4年生以下の会員

松本子ども劇場は会員制の会です。「あそび」や「生の体験」を通じて、大人から子どもまで“仲間”作りをしています。舞台を見たり遊び会に参加するには会員になっていただきます。入会金500円、月会費1200円です。詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ>

松本子ども劇場 松本市県1-3-4
TEL:0263-33-3423 / FAX:0263-33-0048

市民の労力提供に対する 原材料支給事業のご案内

市では、無償の労力提供により行なわれる松本市が所有する公共施設等への修理・営繕などの活動に、必要となる原材料を支給しています。

支給対象となる施設

- ・市が所有又は設置・建設した施設等
例) 小中学校、市営グラウンド、市営の体育館、支所・出張所、市営児童館、市道など
- ・市の補助により設置・建設した施設等
町内公民館・ゴミステーション・防犯灯など

支給割合と支給上限

- ・市が所有又は設置・建設した施設等
全額分(上限5万円分)
- ・市の補助により設置・建設した施設等
1/2分(上限5万円分)

支給する原材料の例

- ・土砂・碎石・生コン・塗料・木材類・網戸材
- ・障子紙・苗木・芝生・タイルなど

詳細は、市民生活課協働推進係(34-3264)までお気軽にお問い合わせください！

~ Peerful 摂食障害コミュニティ ~

大河原昌夫先生講演会

「摂食障害から見えてくるもの~自分・家族・社会~」

摂食障害の患者さんやご家族と長年関わってこられた大河原先生をお招きして講演会を開催します。摂食障害の方、ご家族、ご友人、教育関係の方、医療関係の方、その他たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

日時：1月23日(日) 13:00~16:00

会場：あがたの森文化会館 2階

参加費：2000円

申込み：当日直接会場へお越しください。

講演会終了後、先生を交えて懇談会を行いますので、希望の方は事前にご連絡ください。

問合せ：Peerful E-mail: info@peerful.jp

TEL: 090-6532-8907

キッズ図書コーナーを設置

サポートセンターにキッズ図書コーナーができました。松本市立図書館の除籍になった児童図書を100冊ほどいただき、センター内のキッズコーナーに併設してあります。

『はらぺこあおむし』や『ぐりとぐら』シリーズなど、人気の児童図書もたくさんありますので、是非ご利用ください。



編集後記

本年もよろしくお願ひいたします

サポートセンターに勤め始めてから早3ヶ月が経ちました。振り返ってみると、様々な分野の方々と触れ合うことができ、また今までにない経験もさせてもらい、充実した時間を過ごせたと思います。

2011年も一期一会を大切にしながら、勉強していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。(ごみよう)

